

司書のおすすめ <<2024 年版：こどもの本>>

SEKI CITY LIBRARY

BOOK REVIEW

※2024 年 4 月号～2025 年 3 月号の図書館だよりで紹介した本



『エリック・カールのグリムどうわ』<2024 年 8 月号>

グリム／採話 エリック・カール／再話(偕成社 2024.05)

場所:絵本【E／エリ】

「はらぺこあおむし」の著者エリック・カールのグリム童話の絵本です。「しあわせハンス」「りょうしとおかみさん」「おやゆびトム」「3本の金いろのひげ」「7つの命をひと打ち」の5つのおはなしが、エリック・カールの豊かな色彩の絵といっしょに楽しめます。

『かみさま、いっしょうのおねがい!』<2024 年 7 月号>

といよしひこ／著(国土社 2024.04)

場所:絵本【E／カミ】

学校に遅刻しそうなかみさんは「かみさいっしょうのおねがい!」と祈りますが間に合わず…。席替えでも、給食でひとつ残ったプリンのじゃんけんでも、ピンチになるたび神様にお願いしますが、なかなか叶いません。帰り道、急にお腹が痛くなったけど、家の前でお父ちゃんの車に乗せられて…。え?! おかあちゃんが救急車で運ばれたって?! ついてない一日の、かみさんの最後のお願いは叶うのでしょうか。

『17シーズン 巡るふたりの五七五』<2024 年 6 月号>

百舌涼一／著(講談社 2024.02)

場所:ティーンズ【Y913/モズ】

無口女子で学校では「ぼっち」の中学生・音々。けれど俳句と出会い、俳句仲間と出会い、俳句の魅力にはまり、音々の周りも音々自身も少しずつ変わっていきます。これは、ちょっぴり甘酸っぱい音々の青春物語。

作中、「音々の俳句には色も匂いもあるのね」とお母さんからいわれた音々の俳句も幾つか楽しめます♪

君を推す 青くて疾い 春の風

(音々が詠んだ体育祭のスローガン)

『いつか、あの博物館で。』<2024 年 9 月号>

朝比奈あすか／著(東京書籍 2024.07)

場所:ティーンズ【Y913/アサ】

以前、メイク動画でも話題となった「不気味の谷」って、人がロボット等に抱く心理現象って知っていますか? この本の主人公中学生4人は、校外学習で行ったロボット博物館で「不気味の谷」を体感することになります(※ホラー要素はないのでご安心を)。4人の不思議な縁は、自分自身や周囲との関係に変化を生んでいき…。

彼らが内に秘める葛藤が、それぞれの視点で明らかになっていくおもしろさがある作品です。

『パラスポーツ事典』<2025 年 1 月号>

高橋明／監修(メイツユニバーサルコンテンツ 2024.05)

場所:ティーンズ【Y780/コツ】

東京パラリンピックがひとつのきっかけとなり、大きな注目を集めるようになったパラスポーツ。障害があるかにかかわらず、さまざまな人が共に楽しむことができる、パラスポーツならではの工夫や見どころが紹介されています。

2025年はデフリンピック(聴覚に障害がある人のための国際大会)が初めて日本で開催予定! 選手たちの活躍やこの本を通して、障害への理解がより広がっていくことを願います。

《発行》

関市立図書館 指定管理者 学校法人岐阜済美学院

TEL:0575-24-2529/FAX:0575-23-7780

E-mail:lib@city.seki.gifu.jp

2025.03 発行

『ともに生きる 山のツキノワグマ』<2024 年 11 月号>

前川 貴行／写真・文(あかね書房 2024.07)

場所:絵本【E／トモ】

大きくて力持ちだけど怖がりでひかえめなところもあるツキノワグマ。近年、里山の過疎化によって、野生動物の居場所と人がくらす場所との境界線がなくなり、町に野生動物が出てきてしまうようになっています。人も動物も安心して暮らすにはどうしたらいいのか…。動物写真家が野生動物と向き合い、ともに生きるということを考えていく写真絵本です。

『ひみつのたからもの』<2024 年 4 月号>

豊福まきこ／著(BL出版 2024.02)

場所:絵本【E /ヒミ】

ネコだけが住む、ネコの村。ここに住むネコはみんななかよし。実はぼくにはひみつのたからものがある。それはお魚。お魚が大好き。ネコだからあたりまえ？でもぼくが好きなのは“食べる”ことではなく“かわいがる”こと。お魚を食べないぼくをみんなは「へんなねこ」という。このひみつ、誰かに話したいけど話せない。でも、ある日出あったしましまねこも、ひみつのたからものをもっていた。それは…。

読んだ後、心がほっこりするお話です。

『もしものせかい』<2025 年 3 月号>

ヨシタケシンスケ／著(ポプラ社 2025.02)

場所:絵本【E／モシ】

もしもあのとき…

そんなことを考えたことはありませんか？

思いがけない別れが突然訪れたとき、心にぽっかりあいた穴に優しく寄り添ってくれるような… そんな絵本です。

『時間の学校』<2024 年 12 月号>

原田 知広／監修 田中 真樹／監修(ニュートンプレス 2024.08)

場所:児童【K421／ニユ】

生活する中でたくさん目にする「時間」。そんな時間の仕組みを知っていますか？

この本では、時計が発明される前はどやって時間をはかっていたのか、いろんな生きものは時間をどう感じているのかを知ることができます。お父さんお母さんと時間の感じ方が違うのはなんで？タイムトラベルはできるの？ぜひこの本をめくって答えを探してみてください。

『こどもとできるやさしい金継ぎ』<2024 年 10 月号>

ナカムラ クニオ／著(ホーム社 2024.06)

場所:児童【K752／ナカ】

“金継ぎ”は、壊れた器をなおす、または新しく生まれ変わらせる魔法のような技術です。この本では、子どもとできるやさしい金継ぎの方法が紹介されています。

壊れたからといって簡単に捨てられないものもありますよね。思い出も一緒に修復できたらとても素敵なことです。また、修理することで違った器の美しさにも出会えるかもしれません。

『どろぼう猫とイガイガのあれ』<2024 年 5 月号>

小手鞠るい／著(静山社 2024.03)

場所:児童【K913／コデ】

すずちゃんにはきらいなものがいっぱい！あまいおかしは大好きだけど、野菜はきらい。そして、一番きらいなものは「算数」。「この世からなくなればいい」と思っていると、そこへどろぼう猫が飛んできて“あれ”を奪っていきました。すると…。

“きらい”や“苦手”なものは誰にでもあります。それを“好き”に変えるヒントがこの本できっと見つかるはず。新年度や新学期、前向きな気持ちで過ごしましょう！

『猫と考える動物のいのち』<2025 年 2 月号>

木村友祐／著(筑摩書房 2024.12)

場所:児童【Y480／キム】

私たちは、豚や牛、鶏を当たり前のように食べていますが、そのいのちについて考えたことはありますか？

この本では著者が飼い猫たちと過ごして感じた、動物たちのいのちについてのお話。飼い猫さんの可愛いお話や、知らなかった動物たちの世界、そして「いただく」ことをあらためて考えるきっかけになる一冊です。

